

# 環境活動レポート

---

2011年度(2011年4月～2012年3月末)



株式会社 日本工業社  
環境委員会

## 会社概要

- 社名 株式会社 日本工業社
- 創業 1949年5月
- 資本金 1000万円
- 事業内容 以下サービスを主として、企業内常駐型(オンサイト)、派遣型といった形態の異なるアウトソーシングサービスを顧客企業の要求に合わせて展開。
  1. ドキュメントプロダクション
    - ・ コピー、プリント、製本
    - ・ ビジネス印刷(名刺、封筒、ハガキなど)
    - ・ データ加工(作成、修正、変換など)
    - ・ 電子文書化(スキャニング)
  2. ドキュメント入出力機器管理
    - ・ コピー機・複合機などの管理(資産管理、運用・保守管理、消耗品管理)
    - ・ 機器の適正配置
- 所在地 本社:中央区新川 2-20-15 第2 新日鐵ビル西館 5F  
事業所:都内 6箇所
- 社員数 38名(男:25名 女:13名) 2012/03月末現在
- 主要取引先 新日本製鐵株式会社 新日鐵ソリューションズ株式会社  
新日鐵エンジニアリング株式会社 株式会社新日鐵都市開発  
JX 日鉱日石オフィスサービス株式会社(JXグループ)  
富士ゼロックス株式会社 リコージャパン株式会社  
キャノンマーケティングジャパン株式会社

---

## 環境方針

---

### ■ 基本理念

私たち(株)日本工業社は複写・デジタル印刷をメインとするオフィスサービスをお客様へ提供する事業を通じ、社員一人ひとりが地球環境保全に努め、豊かな環境社会の実現と次世代への継承に貢献することを目指します。

### ■ 行動指針

- ・地域社会とのコミュニケーションに努め、社会への環境保全に貢献します。
- ・環境法規制及び当社が同意した協定を遵守します。
- ・省資源、廃棄物の適正処理と削減、グリーン購入を推進します。
- ・経営者は地球環境を経営の重点課題とし、事業活動全領域において環境保全に配慮した計画、目標を策定します。
- ・環境委員会を設置し、職場における現状の把握と評価及び適切な改善目標を定め、計画且つ継続的な活動を行います。
- ・環境委員は全社員に対する環境保全に対する意識の向上を目指し、教育・広報を行います。

2011 年度 環境活動 計画と実績

項目	NO	重点管理項目	環境目標	対象部署	関連法令 条令	実績
電力 不足 対応	001	省エネ活動推進 節電対策ガイドライン化	JII 節電ガイドライン作成	全部署	地球温暖化 事業活動	<b>本社、丸の内センター ガイドライン作成完了</b> 節電目標(前年ピーク)15%減設定
		省エネ活動推進 環境教育	JII 節電ガイドラインとリンクしたチェックリスト作成 チェックリストの運用管理	全部署	地球温暖化 事業活動 社員教育	<b>本社、丸の内センター ガイドラインとリンクしたチェックリスト作成 &amp; 運用実施</b> <b>本社電気料金前年比 94.8%</b> <b>節電(前年ピーク) 22%減 目標達成</b>
意識 向上	002	環境教育	定期的な情報提供 ・環境委員通信展開 1回/月	全部署	社員教育	未着
地域 社会 貢献	003	地域社会への貢献	WWF の活動情報配信 WWF 募金活動 エコキャップ運動参加 ・キャップ提供量前年比 10%UP	全部署	事業活動	<b>WWF マンスリーレポート全社配信開始</b> <b>WWF 募金 7187 円</b> <b>エコキャップ運動</b> <b>1600 個ワケチン 2 人分 前年比 34%</b>  ☆2012 年度 WWF 会員登録継続 ☆EARTH HOUR2012 参加

2011 年度 環境活動総合評価

- 2011 年度計画は震災後の節電活動がメインとなったが、JII としての節電ガイドラインを策定することが出来たことにより節電推進活動もスムーズとなり、その結果、本社電気代は前年度ピーク時比較で 22%減と目標の 15%減を大きく上回った。次年度も、このガイドライン及びチェックリストの運用を継続目標とする
- 未着手となった「環境教育(計画 No002)」は次年度継続目標とする
- 環境活動のメインが本社となってしまったことは反省点。次年度以降、他部署(遠隔地)でも行える環境活動を取り入れる

2012 年度 環境活動目標指針

1. 前年度策定した JII 節電ガイドラインのブラッシュアップと運用継続

※ 本社、丸の内センター以外の部署での実施推進

2. 環境委員会からの定期的な情報発信の実施

※社員への環境教育を目標とした情報発信の実施

(2012 年度 計画一覧表は 2012 年 5 月 HP 掲載予定)

---

## 違反・提訴等

---

環境関連法令を遵守し、違反、提訴等なし

---

## 代表者による全体評価

---

東日本大震災後の供給電力の低下で、特に夏の電力不足への対応が求められた年でした。世間では「節電！節約！」と騒がれるものの、多くの企業では、声を上げるだけで具体的かつ数値化された目標設定がされていないのが現状でした。

そんな中、弊社が所属する中小企業家同友会が刊行した「中小企業のための節電対策簡易マニュアル」をもとに、迅速に「JII節電ガイドライン」を策定するとともに、チェックリストに則って週単位で着実にトレースしていただきました。その結果、目標を超える成果を上げることができました。ひとえに環境委員の熱意ある働きかけが、周囲の理解と協力につながったのです。

企業の存在価値は、社会へのお役立ちが基本です。ひとつひとつは小さなことであっても、それが積み重なると大きな力となることを仕事だけでなく実感できました。

来期は、その範囲を広げつつ、定期的な情報発信をすることで、全社への啓蒙活動を宜しくお願いします。

株式会社日本工業社  
代表取締役 米田和秀

---

JII2011 年度環境活動レポート

発行 2012 年 5 月 1 日

2011 年度 環境委員会

委員長: 深澤 玄

委員: 李 雪梅 五十嵐隆一 増渕真帆 事務局: 岡田優子